

意見書

氏名： 委員 A さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

課題は広報・周知です。地域団体や活動そのものが市民・地域住民に知られておらず、活動が団体自体のための活動となり、形式的なものに終わりがちです。これでは、当初の目的が達成されないばかりか、そのうち活動があたかも義務のようになっていき、持続可能性が低下し、やがて活動自体が負担になることもあります。

地域活動の有用性が住民に認知・理解されることで、利用者(参加者)も増え、新規参加者も生じ、活動も発展していく、というサイクルを確立するためには、いかに広報するか、つまり、住民に知ってもらうか、関心を持ってもらうか、そして参加してもらうか、というところに注力する必要があると感じます。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

後継者の確保・育成。上記の課題と連動していますが、知られていないことで新規加入者を得づらく、限られた人材で維持していくことで、やがて高齢化し、後継者不在で消滅していく、という未来が見えています。

保存すべき伝統、手を加えてはならない様式、というものもありますが、その一方で、時代の変化に応じて活動の形態を変えていく柔軟性も必要です。現在の形が、活動が始まった当初のまま行われている、と言うケースは実際ほとんどなく、善くなるのなら、守るべきものは守りつつ、変化を恐れない柔軟かさが必要だと思います。でないと、新しい世代の参入が期待しにくい。

意見書

氏名： 委員 B さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・後継者（団員）探しが難しい

地域団体が継続的に活発に活動するためには、団体運営を支える団員である人の確保が重要であるが、現状難しくなっている。

以前は、地域の運動会、ソフトボール大会、子供会活動等々、各種地域行事があったので在住する人同士が顔の見える関係にあったことや、また先輩後輩、親戚・家族同士など御近所付き合いが濃かった。そのため、地域に相談すれば団体の活動に興味ある人等を容易に探すことができた。

しかし、昨今では、地域行事の減少、人口減少、核家族化、個人情報保護など様々要因により人間関係や地域の繋がりが希薄化したため、団員探しが非常に厳しい状況である。地域のコミュニケーションが薄くなってきている。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・地域コミュニティーが崩れてきていると感じている

意見書

氏名： 委員 C さん

Q. 地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・ 地域の住民が一堂に集まる機会がない。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・ NPO（NGO）の活動に対して行政のバックアップがない。
- ・ 地域にある NPO 団体を調査することも必要。

意見書

氏名： 委員 D さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

課題：会員数の減少

老人クラブ会員の減少は全国的な流れで、以前から各種の増員対策を講じてきているが、減少傾向に歯止めがかかっていません。

藤岡市も同様で、本年は令和2年度比－4クラブ、－200名の9支部35クラブ1,573名です。

減少の原因は多々考えられますが、社会情勢の変化により雇用状態も変わり、団塊世代が高齢者になり娯楽も生活様式も多様化した。70代・80代はげネ期のゴルファー、ファーマーである。今ゴルフは平日であれば低額ででき、農業は機械化が進み、元気であれば何歳迄でも可能だ。

高齢者社会を迎え、老人クラブの役割や活動と言った存在は、地域コミュニティの重要な鍵を持つものと思います。

地道な「一声活動」「参加しやすい行事の計画」「地元自治会の協力」等から会員への加入促進を図っていきたいと思います。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

課題：事業の継続

昨年、河川敷の一部を県より借り受け、草丈1m超えの荒れ地を花壇に変えました。

女性会員の多い老人クラブ会員だけで花壇化することは困難でありました。

しかし多くの地域住民の協力を得て立派な花壇化に成功、この春可憐な花を咲かせ多くの人を楽しませています。

当初は、「老人会では出来ない」「その荒れ地に花は咲かない」など、批判的な声もありましたが、一応初期の目的は達成されました。

この花壇づくりから学んだことですが、会員でなかった人達が興味を持ち、珍しい花をもって来たり、草むしりのお手伝いに来たりと仲間の拡大につながったことです。老人会として大きな収穫でした。

ここで課題の事業継続です。

今は、会員の中にリーダー的な存在の人がいますが、今後いつまで続けていけるかと思うと「事業継続」に不安が残ります。

意見書

氏名： 委員 E さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

婦人会は年々会員数が減ってきている事です。
若い人は家庭・仕事などが忙しく、入ってくれません。
家族形態も変わって来ていることも感じます。
活動してくださる人はほぼ決まった人達です。
これからは本当に地域の人々の様々なつながりが大切だと思います。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

活動してくださる人は決まった人達だと思います。
声を掛け参加して下さいと話しても、なかなか出て来てくさいません。

意見書

氏名： 委員 F さん

Q. 地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・ 地域で文化的活動に参加する人が減っており、特に子どもから 50 代の人の関わりが少ない。それに合わせて、地域の年中行事が減っており、伝統芸能の継承が難しくなっている。
- ・ 地域団体も含めて、地域全体として課題解決を図っていく力が弱くなっており、行政頼りの傾向が強くなりつつある。
- ・ 情報化時代と言われるが、地域に関わる情報が少なく、また、発信も限られており、団体の発信力も昔ながらの方法しかなく弱い。時代に対応する情報化の仕組みも個人に頼っており、弱い。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・ 日常的に文化に親しむ場所や機会が少なく、文化に乏しい。気軽に文化に親しむ環境づくりが課題。

意見書

氏名： 委員 G さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

藤岡市では、中学校ごとに5つのコミュニティ・スクールを形成し、地域と共にある学校づくりを推進しています。児童生徒のよりよい成長のために地域の諸団体および皆様に、地域学校協働活動という形でご支援をいただいているところです。

学校とすると、地域の方々にたくさんの恩恵をいただいておりますが、地域からみたときにも、学校を核とした地域づくりにつながっていかなくてはいけない、互いに、WIN-WINの関係にならないといけないと日頃感じています。将来的に、子ども達に地域を支える人になってほしいと思うし、そのために自分の住む藤岡やそれぞれの地域に愛着がもてるような子ども達を育てたいと考えています。こうしたことを進めていくには、やはり子ども達が地域やそこに住む人たち、様々な地域活動を知ったり、地域の方々と交流したりすることは欠かせないことです。そこで、いつも地域の方に学校に入ってきていただくだけではなく、子ども達が地域に出でていく仕掛けづくりを様々な形で考えていく必要を感じています。コロナ禍の中で、祭りやイベントなど、様々な催しが中止を余儀なくされている昨今、3世代が交流でき、持続可能な仕掛けづくりを探っていきたいと考えています。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

①活動が十分周知されないこと。

祭りについては、ある程度知っていても、環境美化に係る活動や催しなど、どれだけの人が知っているかというのは感じるところです。

②加盟する子どもの減少。

子供会や育成会の活動なども敬遠されがちで、そこに属さない人も結構な数いると聞いています。

③地域の祭りや催しなどに参加する人数（大人）の減少。

レジャーの多様化もありますが、祭り、イベント等への参加が減少しているようにも感じます。参加する立場や人が限定的になってしまっている。

意見書

氏名： 委員 H さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- 現在特有の課題として、コロナ禍のため PTA 活動ができていない。学校はあくまで子ども最優先なのでやむを得ない。むしろ、子どもの「日常」を取り戻すことに尽力いただいている学校には感謝している。
- PTA 活動の課題は、役員の担い手不足と活動の「マンネリ」化。当校のような規模の大きい学校でも担い手捜しには毎年苦勞している。事業内容も、バザー、環境整備活動や広報紙の発行など旧来活動の継続である。ほとんどの学校で役員の任期が1年と短く、抜本的な見直し（新規事業や廃止）がしにくい。
- 「コミュニティスクール」といった学校の支援組織の実態が（PTA 会長をしている私にも）わかりにくい。ただ、自分の子どもが通っていてもいなくても、地域住民が「思いを持って」学校を応援するという理念は素晴らしいと思う。PTA 活動の意義はあるとしても、「コミュニティスクール」の理念のもとに PTA 活動が収れんしていくのが望ましいと考えている。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

（団体の長というよりも市民住民として感じていることを記載します。）

- 地域の環境美化について、いつ、どこで活動しているのかわからない。回覧板で結果報告があると「わかっていたら参加していたのに」と思う。全員が参加するとは思えないが、意欲がある人もいる。諦めず呼びかけてほしい。
- お祭りや地区の運動会が地域住民の結びつきを強くし、「助け合い」の精神が涵養されていたことは事実だが、その反面、「特定の人」が支配していて面倒、個人の事情に構わず動員される、という側面もあったように思う。こうした煩わしさが避けられた結果、煩わしさからは解放されたものの、地域住民の結びつきが希薄化、個々がバラバラになっている。
- かつてのような行事のそのままの復活ではなく、かといって個々バラバラではなく、その中間として、個人の興味関心によって結びつく「小さな集団」が市内あちこち存在し、その集団が「何となくつながって」市全体を作っていく形態（一つになって大きくなることを志向しない）が今の時代には合っていると思う。

意見書

氏名： 委員 I さん

Q. 地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・親子で達成感を得られ、なおかつ地域の活性化につながるイベントが、市の協力のもと活動ができたらい。
- ・個人情報が必要な時に
参加者→町内役員→地区子ども会→生涯学習課の順で個人情報のやり取りがある。
- ・広報だけでなく FB を利用して市が主催するイベントの宣伝方法。
- ・ドッジボール大会が無くなり、再開するか、何か代わるイベントを考えてもらいたい。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

- ・役員を決めるのが大変。育成会自体がもう少し認識されるにはどうしたら良いか。
- ・地区会議をしても、支部役員さん等の大人との調整がほとんどで、子ども達の意見が届くことがない。
- ・子どもと散歩している時に声を掛けてもらうのは嬉しいが、個人情報をグイグイ聞かれたりすることが多く、びっくりする事がある。

意見書

氏名： 委員 J さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

①地域の見回り役として、その活動対象が広がっているため、各区 1～2 名の委員だけでは十分にカバー出来ていない。

- ・ 独居老人 ・ 一人親家族 ・ ひきこもり
- ・ 障害者 ・ DV ・ いじめ問題
- ・ 認知症高齢者 ・ 防災

②委員自身の高齢化、なり手不足

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

意見書

氏名： 委員 K さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

地域支え合い協議体を市内 8 ヶ所に設置し、支え合いの地域づくりを進めているが、活動に参加する人が固定されがちで、他のボランティア活動や地域の役員を兼務している方が多い。

今後は、支え合い協議体の周知を進めるとともに、関心のない人にいかに興味を持ってもらい、一歩踏み出してもらうことが大事なことだと思っている。新しいメンバーの掘り起こし、すそ野の拡大が課題だと感じている。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

意見書

氏名： 委員 L さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

藤岡市ボランティア協議会に所属している会員の高齢化と、入会する方が少なく、特に若い方の加入がないこと。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

藤岡市に他から転入した人のうち、子どもがいる若い人達は子どもを通して地域との交流があるが、高齢者の方はなかなか地域に馴染めず、孤立してしまう様に思えます。

意見書

氏名： 委員 N さん

Q.地域団体の活動をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

○公民館における団体活動

公民館を利用している団体の活動は、公民館の社会教育、生涯学習の場としての位置づけから、文化サークル活動が主になっています。そのほかに各種の協会（文化・スポーツ）や各種団体・事業者組合などの会議等での利用が多く、市内の地域団体の利用はほとんどありません。

○地域における活動と公民館

各行政区の自治活動については、各地区ごとに設置している公会堂を利用し、行政区としての利用とともに、地区住民が集まって活動され地区コミュニティの場になっています。

公民館における自治活動への支援は、各地域ごとに実施していたイベント等の大きな事業を共同で開催するようなかたちで実施をしています。8月の納涼祭、10月のスポーツフェスティバル、12月のこどもまつり、1月のどんど焼き、冬季開催の音楽祭など、区長会、社会福祉協議会の支援を受け、多くの地域住民を集めて開催しています。

また公民館では、婦人会活動やスポーツ協会の事務的支援を行い、それぞれの活動を補助しています。

近年の傾向として、高齢化の進展と少子化傾向とともに、住民の意識も様変わりしてきており、地域での横のつながりが希薄化し、地縁関係はより疎遠になってきています。市街地の一つの行政区が超高齢化し、あたかも限界集落のような様相を呈していることも見受けられます。

そうした中においては、地域で古くから受け継がれてきた行事は衰退し、各区ごとに集まって開催される事業（祭り等）はほとんど実施されず、かつては盛んであった子ども会などの活動も縮小、減少の一途をたどっています。地区公会堂における団体活動ももっぱら高齢者の活動になっています。

全体として地域団体の活動の活性化は難しい状況にありますが、近年の災害多発傾向を鑑みると、小さな社会単位である行政区や旧来の「まち」の中での横のつながりは大変重要であります。自助、共助できることが、地域の安全安心をかたち作ること

になると思います。

災害に限らずボランティア活動の活性化も重要で、文化的活動とともに、地域で地域内の住民や多くの事象を支援するボランティア活動も活性化に繋がることと思います。

Q. あなたがお住まいの地域での活動（地区の環境美化やお祭り等）をする中で、課題だとお感じになっていることは何ですか？

地域活動の中における最大の課題（弱点とも言い換えられる。）はマンパワー不足である。その要因は種々考えられるが、根底にあるのは地域社会への愛着の低下であると思慮する。地域への愛着が希薄なため協調性に薄れ、自己中心の生活から脱却できないことである。また、価値観の多様化、プライバシー意識の高まりなど様々な要因が錯綜して、マンパワー不足、担い手不足に陥っている。

このため、どのような行事や作業を行うにしても人で不足が伴う。特に、若い世代の協力が思うように得られず、結果的には高齢者を中心とする集団が形成されるが、この形が持続するものではない。

例えば地域の行事として盆踊りやどんど焼き等を実施する場合、その担い手が年々減少し、地域に根付いてきた文化が消失している地域もある。

また、地域のために協力しようとする考え方を持たない、あるいは持っても内向き志向となっている住民が増加していることである。身近な例では行政区の中の班での問題である。輪番で担うべき班長を拒否する。（本人としては拒否する理由があるのだろう。）さらには法律や条例で定められている各種の役も、なかなか引き受けていただけない状況でもある。具体例としては、市条例で設置している健康推進員について、令和3年度の推薦に当たって人選をしたところ、11人に拒否され12人目の方にご承引いただいたというケースも耳にしている。

地域コミュニティの確立は喫緊の課題であると言うことは当然である。コミュニティが確立されてこそ地域の活動も力強く活性化するであろう。

昨今、孤独死という言葉が頻繁に目にする。このような状況をできるだけ解消するには、強固なコミュニティの中で確立された地域の連携が不可欠である。どのような地域の役にも同じような顔ぶれが集まるということは、地域の連携が希薄だということであり、活動の停滞や低下に繋がるものである。

行政への要望

コミュニティの維持・強化に関して行政が率先して対応することは非常に望ましいことであるが、行政が地域の実情をどのように把握し、捉えているのか、些か疑問を持たないわけでもない。

また、この懇話会設置趣旨中において、行政がどのようにバックアップしていくかとの文言があるが、最初から地域に任せ、必要に応じて行政が出馬するとのように読めるが、少し後ろ向きな発想ではないだろうか。

記述のような状況を踏まえ、行政が前向きに住民先導をなすような事業をまずは実施すべきであろう。例えば、社会教育に造詣の深い専門家による講演会や市職員が各公会堂等を利用して、地域住民との意見交換をなし、コミュニティに対する重要性を啓発することも一方法である。

何よりも、住民がコミュニティ形成に一步踏み出すような契機を行政が主体となって構築すべきではないだろうか。